

東大阪市支援教育研究会おたのしみ会

11月18日、東大阪市支援教育研究会が、毎年実施している恒例の「おたのしみ会」が東大阪市市民会館の大ホールで行われました。

今年の「おたのしみ会」は中学校、16校、小学校44校が参加しました。児童数は約500人、保護者や教職員も合わせると約1200人もの方々が来て下さり、広いホールは2階まで一杯になりました。

演技は市内の小中学校を7つのブロックに分けて、ブロック毎に発表しました。まず始めに、東南ブロックがダンスで「アイ ウィッシュ フォー ユー」、2番目に中北ブロックもダンスで「ニコニコダンスで冒険旅行」、3番目に西北ブロックが劇で「ピーマンマンと夜ふかし大魔王」、4番目に西南ブロックが劇で「手をつなごう みんなともだち」、5番目に中南ブロックがダンスで「中南まつり」、6番目の東北ブロックもダンス「がんばれ東北！東北わっしょい！」、最後に西中ブロックが劇で「宝島」を発表してくれました。

どのブロックも 一杯の演技をしていて、見ていた児童や保護者から 大きな拍手をもらっていました。

演技が終わってからは、親子でお弁当を食べ、午後からは、大学生のチアリーダーのダンスやマジックがあり、最後にサンタクロースが来て、児童・生徒にすてきなプレゼントが渡されました。終わったのは2時過ぎでしたが、あっという間にすぎた楽しい「おたのしみ会」の一日でした。

